第259号
発行日：2022年5月1日
（2022年5月－6月号）
発行人：小川マキ
〒950-2172
新潟市西区内野上新町11810番地3
TEL　代表（025）264-5000
FAX（025）261-4430
在宅ケアセンターゆうばえ内

ときの話題

戦争と平和 90歳にして思うこと

早川　哲夫
五十嵐中島

父の応召と兄の勤労動員で 戦争が現実のものに

小生、太平洋戦争が始まった時は小学校四年生、終戦時は旧制中学二年生十三歳でした。幼年期は正に戦時色がどんどん濃くなっていく時期でしたが、戦火が身近に及ばなかったせいか子ども心に遠い国の出来事と思っていたのでしょう、記憶が乏しいのです。

戦争が現実味を帯びて迫ってきたのは、父の応召です。昭和十九年春、小生の旧制中学合格と同時に、父へ召集令状が届きました。戦況悪化で見送りも許されなかったので、父は沼垂駅から一人出征しました。二歳上の旧制中学三年生の兄も数か月後、学徒勤労動員令で、愛知県の航空機製造工場へ動員されて行きました。家には母と小生の二人だけ残りました。幸いにして兄は終戦一か月後、父は一年後骨と皮だけになっていましたが、何とか帰還しました。家族全員揃いましたが、その後が大変でした。食糧難、物凄いインフレ、預金封鎖、新円切換五百円生活など。母の着物は全部小生たちの胃袋に入ってしまいました。私も学校から授業料納入袋を持って帰るのがいちばん嫌でした。

空爆の記憶と知事布告

新潟市民が初めて飛行機雲を見たのは、昭和二十年四月十三日。B29一機が新潟上空をゆっくり旋回しながら偵察していたのでしょう、はるか上空に白い輪が浮かんでいたのを釣りに行った池の畔ではっきり見ました。

それからしばらくして、夜になるとB29の空襲が始まります。満洲へ軍需物資を積み出す新潟港の封鎖が目的なので、機雷に落下傘をつけて港の内外に落とすのです。近くを船が通ると感知して爆発・沈没させる仕組みです

小生、偶然寄居浜にいてその一部始終を目撃しました。ついぞ見た事のない大きな船が防波堤の向こう側（河口）を港外に向かってゆっくり進んで行くと、突然巨大な水煙が立ち昇って船が殆ど見えなくなり、その水煙が消えると船の姿は無く、防波堤越しにマストらしいものが三～四本見えるばかりでした。爆発のあと、十幾つか数えたあと、腹に響くごう音が聞こえてきました。

制空権（※1）も制海権（※2）もアメリカ側に奪われると、航空母艦から発進した艦載戦闘機（主としてグラマンF6F）が頻繁に来襲し無差別に機銃掃射を浴びせたり、ロケット弾で攻撃したりするようになりました。学校でも授業中いきなり新潟港へ連れて行かれ、軍需物資の積込みをさせられたり、黒埼に一夜にして飛行場を作るのだと動員されたり、原爆攻撃を避けるため市の中心部から十キロメートル以上離れた地へ避難するよう知事布告が出たりと思い出は尽きません。戦火が直接身に及ばなかっただけ運が良かったのかもしれません。戦争がもう一年長引けば軍隊の学校（主に海軍甲種飛行予科練習生）へ送り込まれていたでしょう。

小生が本心で戦争の恐怖を感じたのは、神風特別攻撃隊出撃のニュースを聞いた時です。海軍航空兵で戦死した叔父の影響か、何となく予科練に憧れていた自分ですが、果たして爆弾を抱いたまま敵艦に体当たりなどできるだろうかと底知れない恐怖を感じました。中学一年生の秋です。

※1　領空を支配・管制する能力
※2　領海を支配・管制する能力

大陸と向き合う
日本の重要な立ち位置

　地球儀を回してみると、中国やロシアそれに南北朝鮮が外洋進出を図る時、地勢的に邪魔になるのは日本列島です。もしこれらの国に「裸の王様」や「乱心の殿様」が現れ日本の属国化を図って侵攻してきたらどうしましょう。古くは元寇の例もあり、今、ウクライナの例もあります。

　それにしてもロシアは悪しき例を作ってくれました。これで世界中が国土防衛という錦の御旗を掲げて大幅に軍備増強に進むでしょう。既に「第三次世界大戦近し」「核武装止むなし」などという言葉がささやかれています。

先の戦争を知る者として
若い世代にお伝えしたいこと

　齢九十の私には手遅れですが、若い人たちには積極的に海外に出て諸外国の歴史、文化、伝統、民力、生産力などを学んできてほしいと思います。留学はもちろん、旅行でも移住でも、海外協力隊でもいい。「知識大なれば成すところ大なり」とは古人の教えです。わが国は少子高齢化に加え、資源不足。地面を掘っても石油もレアメタルもウラニウムもダイヤモンドも出てきません。逆に放射性汚染物質が出てきましたなどということになるかもしれません。

　わが国は戦争などできる国ではないことを外から見て実感し、今後いかに進むべきかを考えてほしいのです。

　幸い日本はまだ民主主義政治が守られています。多少時間はかかりますが、議会も機能しています。しかし議員を選ぶのは私たちです。「殿の乱心」にブレーキをかけられるのも私たちです。住みよい、平和な国をいつまでも守るための一票は大切にして下さい。

「新川　橋物語」
第八回　三日月橋

越後新川まちおこしの会
世話人　**加藤　功**

　通称・弥彦街道の新川に架けられている三日月橋は、200年前の新川開削当時から架けられ、北国街道が通っていました。建設時は「内野往来橋」と呼ばれ、いつの頃からか「三日月橋」と名を変えて現在に至っています。

　明治11年の明治天皇北陸東海御巡幸時、明治天皇が赤塚から新潟に向かう途中この橋の上で地元代表より、新川開削の意義と底樋について話をお聞きになられ、併せて、投網の名手の技をご覧になられたと言われています。

現在の三日月橋

　この写真には、ようまち小屋（魚待ち小屋が訛った）が写っています。これは内野名物で、最盛期には約60小屋あったと言われています。小屋の中から四つ手網を下ろし魚を獲る漁法で、季節によって鯉、鮒、イトヨ、ウナギや鮭が獲れたそうです。

　昭和39年6月16日に起こった新潟地震により橋脚が下がり、補強を行いました。現在の橋は昭和50年、道路拡幅に併せて両側に歩道を備えました。

　下記の二次元コードを読み取ると、映像がご覧いただけます。

大正時代の三日月橋と新川の「ようまち小屋」

https://youtu.be/eH6oNTDgovA

紹介します！
わが家のとっておき
簡単料理

春キャベツと春きゅうりの浅漬け風サラダ

訪問看護ステーションゆうばえ
佐藤美和子

材料
① 春キャベツ …… 4～5枚
② 春きゅうり …… 1本
③ りんご ………… 1/4個
④ レモン ………… スライス3～4枚
⑤ 塩 ……………… 少々
⑥ 酢 ……………… 大さじ3杯
※酢はなんでもOK。私は、はちみつレモン酢を使用。

作り方
① キャベツは手で食べやすい大きさにちぎり、レンジで加熱。(600W・3分)
② きゅうりは、くし切りにし、塩少々ふってしんなりさせておく。
③ りんごは、1/4をさらに半分にし、いちょう切りにする。
④ ①のキャベツを水で洗い、ぎゅっとしぼる。
⑤ きゅうり・キャベツ・りんごをボールに入れ、酢・塩を入れ和える。
⑥ レモンをかざる。

スーパーで春キャベツ・春きゅうりと『春』がつくとなぜか買ってしまいます。この時期のキャベツは、巻がゆるく葉がやわらかなので野菜をたくさん食べたいときの時短サラダです。

酢が入っているため塩分も控えられ、りんごの甘さがアクセントのさっぱり浅漬け風サラダです。旬をお楽しみください。

地域の声・話題コーナー

第257号「義母に教わったとろろ汁」の感想

とろろ汁は冬になると何度か作りますが、このとろろ汁はオタマで5分～10分混ぜるとあって騙されたつもりでかき混ぜてみました。するとふわふわの口あたりの良いとろろ汁ができ感動！

第258号上越地方に伝わる「大根と人参の煮なます」の感想

冬ならばどこにでもある材料で、甘酸っぱい煮なますは食べやすく美味しかったです。優しい味の副菜ですね！ (T通信員)

地域の健康づくり

お誘い合わせてご参加を
お元気会の予定

●**健康体操・健康チェック**
(包括支援センター赤塚　看護師の指導)
5月26日(木)10：00～11：30　西コミセン
骨密度計・体組成計などで骨・筋力のチェック！

●**健康体操・口腔ケア**(西区役所の歯科衛生士の指導)
6月30日(木)10：00～11：30　西コミセン
お口のケアは食べるための大事なお手入れ！

夕映えの会　総会　ご案内

とき　5月14日(土)　9：30～
ところ　西コミセン
議題　1．2021年度の振り返り
2．2021年度会計報告および会計監査報告
3．2022年度活動方針

※まだコロナウイルス感染が心配されますので、規模を縮小して開催します。

団体さーん いらっしゃ～い

こけし親子リズム

こけし親子リズムは新日本婦人の会こけし班小組の子育て支援サークルです。8組の親子（おばあちゃんと子どもの組み合わせ有）のサークルです。

金曜リズムは赤ちゃん～2・3歳の保育園、幼稚園へ行く前の子どもたちを対象にしています。リズム体操でCDをかけ、どんぐりコロコロやお馬さん、燕になって走ったりなど15分くらい元気に親子で活動します。その後遊びます。最近〝シーツブランコ〟を楽しんでいます。そしてビリビリ、紙遊びしながら毎日の子育てのことを話題にしてママ達がおしゃべりしています。

土曜リズムは金曜リズムの卒業生の兄ちゃん姉ちゃんも加わりいつものリズムの後、絵本、手遊びをしています。最近楽しかったのは新聞紙じゃんけん。金曜リズムはゆったりと、土曜リズムは元気いっぱい遊んでいます。

何時でも会員募集中です。どうぞ遊びに来てください。

（こけし親子リズム　高橋小夜子）

新シリーズ

高齢者に学ぶ伝統食つくり

地域密着デイサービス えんでこ
武田　彰

第五回　草餅

子どもの頃から食べていた『草餅』。今回、ご利用者様から教わりながら春の薫りのする草餅を一から作ってみました。

【ヨモギ採り】

近年は、農薬の散布によって自生している安全なヨモギ（もち草）は希少価値です。そこで、私の祖母から農薬を散布していないヨモギの自生場所を聞き、4月の初旬にご利用者様と採取に出掛けました。そこは葦枯れの堤防、若葉の出始めたやわらかなヨモギが群生していました。

【下ごしらえ】

5人がかりで枯草やほかの雑草を取り除き、その日のうちにゆでました。重曹を少し入れるとアクが抜けヨモギの色も悪くならないとアドバイスをいただきました。バケツ2つ分のヨモギは350グラムほどしかありませんでした。

【草餅作り】

一升のもち米を蒸かし、お茶碗一杯分のご飯と一緒につくと良いとのアドバイスを受けて草餅作りが始まりました。もち米がある程度つぶれた頃、お餅を柔らかくするため、お茶碗一杯分の砂糖とヨモギも一緒に餅つき機に入れると白いすべすべのお餅が瞬く間に濃い抹茶色の草餅へと変身。一口大に千切った草餅に、こしあん・粒あん・職員手作りのきんぴらを包み、表面をさっときな粉でまぶし完成。

【出来上がり】

「昔作ったことがあるだけで、上手にできるかしら？」と利用者様。でもお餅が出来ると、あんこやきんぴらを包む姿が輝いて見えました。ヨモギの収穫から始まって草餅が出来上がるまでに、いくつもの工程があり、先人の知恵や培ってきた技術があると実感しました。これからも温故知新の精神で色々な事を学びたいです。

新型コロナ
行動制限が緩んでも基本的な感染対策は継続を

訪問看護ステーション ゆうばえ
高橋　直美

コロナウイルス・オミクロン株の「重症化しない特徴」をとらえて、国は社会・経済活動推進へと大きくかじを切ることが巷間伝えられています。

しかし医療ひっ迫につながる病床利用率は上がっていないものの感染者数は第6波を上回わりました。さらに検査や濃厚接触者の特定に、保健所が消極的に見えることも気がかりです。

既に感染力が強いオミクロン亜種BA2への置き換りが相当数進んでいると伝えられています。

今が大事な時期です。

人込みでのマスク着用は必須。手洗いはこまめに行いましょう。

飲食は少人数・短時間で済ませましょう！

編集後記

大陸の彼方では、おぞましい戦火が止まず、足元では新型コロナの感染動向が気になり、編集子は少し情緒不安定の日々です。「歴史は繰り返すのか」と自問すれば断じて否。繰り返すように見えて、実は新たな発展へむかっていると思いたい。大国の横暴がまかり通る不条理は早晩なくなると。しかしそのために外交をはじめとした人類の英知が今試されていると考えます。

（M記）

Information

夕映え新聞　通信員大募集

お住いの地域のとっておき情報をお知らせください。

大好きな町の風景や写真、耳より情報、わが家でツバメが子育てとか、ホッとする情報をお寄せください。

編集責任者　高橋　実
電　　話　025-264-5000　ゆうえい会
携　　帯　090-2661-8249

【配食事業部】 070-4453-5228（小島）

見守りとあわせて食の確保をお手伝いさせていただきます。利用日のご相談を致します。

【生 活 支 援】 070-4314-3980（神立）

夕映えの会の助け合い活動で、草取りや障子貼り、お買いものやお出かけ等の移動支援を行なっています。お気軽にご相談ください。